

中国留学生から見た 青森県の地域活性化について

弘前大学大学院 人文社会科学研究所 修士課程2年

金 春海 きん はるみ (中国)



青森県産のりんごを出発点にした、青森と世界という複眼的な思考に独自性がありました。留学生として青森で生活する筆者にしか書けない、実感に基づく具体性に富んだ記述や、図表を用いた考察のユニークさ、多様な調査を実施した積極性も評価されました。

少子高齢化が急速に進んでいる地方、若者の流出も高まり、東京一極集中となりつつある今日、地域創生は迫った課題となってきた。青森県も例外ではない。増田寛也さんの『地方消滅』では、2040年に青森県の20～39歳の女性は50%減少するそうだ。筆者は弘前大学の学生であり、青森で2年間の留学生生活を送ってきた。本論では留学生の視点から青森県の地域活性化をいかに創るべきか検討し、その対策について、りんご輸出の拡大、そして観光産業の盛り立て、この2つの面から述べる。

経済発展が目覚ましい諸国に対する「高級」果実の輸出は、注目を浴びてきた。青森県は農林水産業を営んでおり、特にりんごは全国でも有名で、高い評価を得ている。青森は日本一のりんご産地であり、りんごといえば青森、青森といえばりんごと深い繋がりがあがる。しかし、りんごの輸出は台湾への依存度が90%と高く、中国の内陸都市への輸出はほんの少ししか見られない。日本に隣接している中国は、ご存知のように13億人以上の人口を有している国である。そのため、中国市場の開拓がうまくいくと、青森県産りんごの輸出は更なる拡大が見込まれる。

2014年2月、筆者は弘前大学の「地域の創生に貢献する人材の育成プログラム」に参加し、上海で青森県産のりんごを販売しながら、卸売市場の上海輝展果蔬市場と繁華街の高級スーパーOle、この2カ所で青森県産品のりんごの値段についてアンケートを行った。

上海輝展果蔬市場は、世界各国から果物を仕入れて、小売店に向けて販売する卸売市場である。そして、Oleは外国系スーパーで、パン、ワイン、カットサラダ、果物、チーズ、ハムなど、在住外国人向けの食材が揃っている。Oleでは果物の売り上げが一番だそうだ。

それぞれのりんごの値段について統計したところ、上海輝展果蔬市場では、金星が28玉で460円(1玉約320円)、サンふじが14玉で260円(1玉約370円)、世界一が11玉で280円(1玉約500円)、王林が32玉で367円(1玉約230円)であった。一方Oleでは金星が1玉76元(約1,500円)、サンふじの場合、小さい玉は1玉40元(約800円)、ちょっと大きい玉は1玉76元(約1,500円)、世界一は1玉122元(約2,440円)、王林は小さい玉が1玉41.8元(約800円)、大きい玉が1玉76元(約1,500円)である(表1)。

表1 青森県産りんご1玉あたりの値段の比較

	上海輝展果蔬市場	Ole
金星	320円	1,500円
サンふじ(小)	370円	800円
サンふじ(大)	不明	1,500円
世界一	500円	2,440円
王林(小)	230円	800円
王林(大)	不明	1,500円

2015年8月 筆者が調査結果を元に作成

表2 りんご移出業者の商協連加盟数

(単位:社)

年	商協連加盟数
S.58	320
H.10	130
H.15	118
H.20	94
H.25	79

出所:講演稿「りんご移出業者の出荷戦略と在庫管理」
北山 和彦 2015年

表3 全国のりんご収穫量と青森県のりんご収穫量

(単位:千t)

年産	全国りんご収穫量	青森県りんご収穫量
S.51	879	416
S.52	959	475
H.元	1,045	503
H.2	1,053	501
H.10	879	477
H.20	911	493
H.23	655	368
H.24	794	446
H.25	742	412

出所:講演稿「りんご移出業者の出荷戦略と在庫管理」 北山 和彦 2015年

表1から分かるように、上海輝展果蔬市場とOleで販売している青森県産のりんごの値段は、遥かに差がある。しかも日本国内に比べても相当高い。その原因はいろいろあると思うが、まずりんごを卸売市場、小売業者などに移出しているりんごの移出業者の商協連加盟数がどのような影響を与えているか見てみよう。表2で示したように、昭和58年に商協連加盟数は320社、平成10年には130社、そして平成25年には79社に減少し、この30年間で約4分の1になっている(表2)。

しかし、青森県のりんごの収穫量と全国のりんごの収穫量を見ると、青森県のりんごの収穫量は年々若干変化があるものの、全国でのシェアは高くなりつつある。このことから、りんご移出業者の変化はりんごの移出に大きな影響がないと判断できるだろう(表3)。

では、上海で販売している青森県産りんごは、なぜそんなに高いのだろう。その理由は、青森県産のりんごは形の揃いや大きさ、色の付きかたが良く、食味、芳香、鮮度などどこから見ても世界一の品質であるからであろう。中国で販売しているりんごを見ると日本に比べて小さいし、少し傷が付いているものもあれば、つるがあるものもないもの、ワックスが塗られているりんごなど、さまざまである。そのため、このようなりんごに慣れている中国人には、かえって青森のりんごは色がきれいで大きいから薬を入れていないかなどと心配をしている人も多く見られる。青森県の「キタエアップル」という会社から青森県産りんごを仕入れて、上海Oleで販売を手掛けている小売業者のJCKの斎藤青雲社長に聞くと、こんなに高い値段でりんごを販売しても、実は利益はあまりないそうだ。青森でりんごの輸出に携わる山野りんご株式会社の山野社長は、「りんごはアップルではない(This is not an apple. It is another kind of fruit!)」とキャッチフレーズを用いながら強調し、青森りんごと他のりんごとの差

別化を重要視している。このように、いかに青森県産のりんごを中国国内のりんごと差別化し、ブランド化して中国国民に知ってもらうかは、重要な課題の1つであると思う。

もう1つの課題は、りんごの価格である。2015年、青森の有袋りんごの栽培比率は30%を切っている。有袋は無袋に比べ、木箱1箱最低700円以上の高価格が付かないと作る農家は少ない。有袋りんごは色付きがとても良く、台湾では大好評である。しかし、栽培に手間がかかり、その分収益もないため、栽培をやめる農家が増えてきた。このまいくと有袋りんごの輸出価格が上昇し、台湾での市場が懸念される。有袋りんごの価格だけではなく、表1で分かるように、中国において青森県産りんごの価格は日本国内に比べて相当高い。りんごの輸出を拡大するには、価格を抑える措置を取る必要があると思う。そのためには国内の小売業者だけでなく、海外の小売業者との取り引きを増やして市場を確保する必要があると思う。

前述したように、青森県産のリンゴの輸出は、台湾への依存度が90%と高い。しかし、台湾の衛生福利部食品薬物管理署(FDA)基隆弁事処は2015年3月24日、10社の台湾企業が、東京電力福島第1原子力発電所事故の発生で輸入禁止地域としている福島など5県の食品の産地を偽装して申告している事例を発見したと発表した。FDAは産地偽装の疑いのある食品283件のリストを公表し、輸入企業に対し、卸し先の企業に市場から商品を撤去するよう通知した¹⁾。産地偽装を防ぐために台湾政府は、原産地証明の添付と、野菜・果物・乳製品などの特定食品について、公的機関が発行する放射能検査済み証明を希望している。このような「食品の産地偽装問題」により、台湾では日本からの食品輸入について規制が強化されることとなった。台湾は福島原発の事故発生後に福島、茨城、栃木、群馬、千葉の5県の食品輸入を禁じていたが、この事件

後は残る42都道府県の食品でも産地証明書の添付が必要となると発表した。これは青森県にも影響が及んでいる。マルジン株式会社の社長に話を伺ったところ、現在、台湾にりんごを輸出するには、りんごの産地を明記する以外、農林水産省の検査を受ける必要があり、前より一層手間がかかるようになったそうだ。中国内陸でのりんごの需要が高まると、このような事例が再び発生するかもしれないので、日本の関連部署からもそれを防ぐために前もって措置を取っておく必要があるのではないかと思う。

それでは、次に青森県の観光産業の盛り立てについて述べたいと思う。青森県は四季鮮明な所であり、春は桜祭り、夏は弘前ねぶた祭り、青森ねぶた祭り、秋は紅葉祭り、菊祭り、冬は雪灯籠祭りなど四季を通じて祭りがあり、何よりも世界遺産の白神山地、十和田湖、十二湖、八甲田山などの自然風景が絶景である。温泉地の数は全国で4位と高い位置を占めている。しかし、このような四季を通じて観光が楽しめるきれいな所が、まだそれほど中国人に知られていないのが現実である。2010年の中国における日本の都道府県の知名度を見ると、中国に最も知られている都市は東京、次いで大阪、京都は第3位で、その次が北海道である。そして、沖縄が第5位、広島が第6位、福岡が第7位を占め、青森県は23位である。青森県のすぐ隣に位置する北海道の知名度に比べて、青森県の知名度は信じられないほど低いことが分かる。

実は北海道の知名度は、2008年12月に中国の馮小剛監督が『非誠勿擾』という映画を撮影した後に飛躍的にアップしたものである。北京出身の馮小剛監督は、この北海道ロケに関し、交友関係のある人物の紹介で、1990年代に東京から釧路へフェリーで訪問したことがあり、本人はひどく風景に感動したそうだ。映画の中に出演している主人公の舒淇（スー・チー）、葛優（グォ・ヨウ）、徐若瑄（ビビアン・スー）は、中国で大人気の俳優である。この映画の後半の主な舞台は日本の東北海道の釧路、阿寒湖、網走、厚岸、斜里、美幌で、その映画は中国で大ヒットとなり、中国に北海道観光ブームを巻き起こした。表4は2000年から2013年までに北海道を訪れた中国人の観光客数を示したものである。北海道を観光した中国人は2002年の5,200人から徐々に増え、2008年は47,400人に達している。その後の2009年、2010年、この映画を撮影した後のこの2年間の数字に注目してもらいたいのだが、北海道への観光客数は2008年の47,400人から急速に増え、2009年に92,700人と前年度対比で95.6%増加し、2010年には135,500人と前年度対比で46.2%増加している（表4）。

この映画のシーンに出てくる観光スポットのJR釧網本線北浜駅、能取岬、町道朝日10号線、キリスト兄弟団斜里教会、阿寒湖、知床グランドホテル北こぶし、炬燵た浜っ子居酒屋等は、

今日でも中国人にとっても人気がある。もちろん、青森でも韓国ドラマ「優しい男」の撮影があり、このドラマは韓国で大ヒットしたが、主な舞台として登場するシーンが短く、しかも中国にはまだその影響が及んでいない。中国人に青森県を覚えてもらうためには、青森県のりんご農園、白神山地、十和田湖、十二湖、八甲田山などのロケ地を中国映画、ドラマの主舞台として登場させ、しかも登場するシーンを長く、印象深く撮影してもらう必要があるだろう。このような映画かドラマをたくさん撮影してもらうと、中国において青森県の知名度は当然高くなるし、青森県にも中国人の観光ブームが起こるのではないかと思う。

私は中国吉林省の延辺大学の日本語教育学科を卒業し、その後、大連のIBM株式会社に勤めたことがある。そんな私がなぜ日本にやってきたか今でもよく周りの人に聞かれるが、その理由は、会社に勤めていた時、日本人のお客様向けにサービスを提供していたが、その時、日本人のお客様からよく「中国人は日本語ができてても日本の文化、日本人の考え方が分からないと商売とかできないよ」という声を耳にしたからである。私が日本に来て一番驚いたことは、街の清潔さ、そして街の中の静かさだった。中国ではよく見かけるゴミが日本ではめったに見られず、ゴミ箱もビンや缶、ペットボトル、燃やせるゴミ等にきちんと分類されて設置されていることに驚いた。そして、街中を走る車は割り込みをせず、お互いに譲り合いながら進んでいるため、

表4 北海道の中国人客数

(単位:人)

年	中国人客数
2000年	2,400
2001年	3,900
2002年	5,200
2003年	5,800
2004年	12,050
2005年	15,650
2006年	17,350
2007年	26,950
2008年	47,400
2009年	92,700
2010年	135,500
2011年	101,400
2012年	102,200
2013年	158,300

出所：北海道経済部観光局が統計した訪日外国人来道者の推移を元に作成 2014年

クラクションの音が聞こえなかった。このような状景は、日本に来る前までは分からなかったことである。まさに、日本の文化、習慣、日本人の考え方等を理解しないと商売がうまくいくはずがないと思った。

この2年間、私は日本と中国の文化、習慣など異なる文化を理解するため、弘前で行われる祭り、イベント等に積極的に参加した。春の桜祭り、夏のねぶた祭、秋の菊と紅葉祭り、冬の雪灯籠祭りなどは、いずれも中国では体験できない貴重な経験となった。それだけでなく、私は弘前大学、岩手大学、秋田大学の3大学の合宿活動、着物の教室、市民との餅作り大会、りんご品評大会、津軽よさこい等にも積極的に参加し、日本人の学生、日本の市民と交流を深めた。そして、このような触れ合いを通して、日本への理解を深めてきた。表5は私がこのような活動を通じて感じた食文化、生活面の違いである。(表5は青森県で実感したものと中国東北地方の文化、習慣を比較して作成したものである)。私はこの経験を共有することで、日中両国の人々の円滑な交流に少しでも貢献できたらと思う。

文中注

- 1) 日本貿易振興機構JETRO 世界のビジネスニュース「輸入企業による日本食品の産地偽装申告が発覚」2015年3月26日
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2015/03/55136689df250.html>

参考文献

- 北海道公式ウェブサイト「北海道観光入込客数の推移」
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikominosuii.htm>
- 黄孝春・平本和博『りんごをアップルとは呼ばせない——津軽りんご人たちが語る日本農業の底力』弘前大学出版会、2015年
- 増田寛也編著『地方消滅——東京一極集中が招く人口急減』中公新書、2014年
- 戴二彪「訪日中国人観光客の旅行先分布構造と影響要因」東アジアへの視点 2012年
http://shiten.agi.or.jp/shiten/201203/shiten201203_01-12.pdf
- 田中重貴「日本産りんご輸出における産地流通主体の役割：青森県産りんごを事例として」北海道大学農経論叢 第62号 pp.141-150、2006年
http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/dspace/bitstream/2115/8355/1/62_12.pdf

[受賞者インタビュー]

日本と中国の 架け橋になれるよう、 日本でITを学びたい



——コンテストに応募した理由、きっかけは？

弘前大学に留学するときに、中国の友達や先生に「青森ってどこ？」と言われ、青森は知られていないんだなと思いました。青森県の知名度を高めたかったし、青森の活性化につながるのではと思って応募しました。

——この論文を書く上で苦労したことはありますか？

字数制限が一番大変でした。大学の研究で行っている上海でのりんごの販売活動や現地の人の声、そこで気づいたことなどを字数制限内にまとめるのにとても苦労しました。

——この論文を書いたことで良かったことはありますか？

青森では地域活性化という課題が活発になってきています。この論文を書いたことで、青森県の魅力をたくさんの人に伝えられたかなと思っています。

——今、どんなことに興味を持っていますか？

PCでWebページを作ったりするのが好きで、IT技術者のための試験を受けようと思って勉強しています。ITを駆使して社会生活を支えることに興味があるので、日本で技術を学びたいです。そして将来は、日本と中国が円滑にビジネスができるように、「日本と中国の架け橋」のような人になりたいと思っています。

表5 日本と中国の習慣

	日本	中国
食習慣	ニンニクは値段が高く、家庭ではあまり使わない	ニンニクは値段が安く、料理によく使う
	野菜が高い	野菜が安い
	スーパーで売っている肉はステーキ用、ひき肉、角切り等に	肉はほとんど市場で1kgくらい買って、自分がステーキ用、角切りなどに切る必要がある
	生卵をご飯にかけ、醤油を入れて食べる	生卵は食べない
	ラーメンと餃子を一緒に食べる	餃子は主食、水餃子をよく食べる
	辛いものが食べられない	辛いものが好き
	お弁当のおかずの種類が多い	お弁当のおかずが少ない。大体1品か2品
	コロケ、から揚げ等の揚げ物をよく食べる	主に炒めた料理を食べる
	甘いものが好き	甘いものより辛いものや、濃い味のものが好き
	朝食はほとんど家で作って食べる（ごはんか、パン）	朝食はほとんど外で買って食べる（豆乳、揚げパン、おかゆ、肉饅頭、焼餅など種類がいっぱいある）
	どうもろこしは柔らかくてジューシー	どうもろこしは固い
	果物などは1個ずつ売っている	果物は1斤（500g）単位で売っている
	カクテルが安い	カクテルは高級なお酒であり、普通のレストランでは販売していない
	ビールは冷えている	ビールはぬるい、ほとんど瓶ビール、生ビールは少ない
	飲み放題をやっている居酒屋が多い	居酒屋は少ないし、お酒は瓶ビールか、白酒が主流。飲み放題の店はほとんどない
	人数分の料理、1人1人のためのお皿で食事	大きなお皿を複数の人が囲んで一緒に食べる
	りんごは焼いても食べる	焼きりんごはほとんどない。クリスマスイブにりんごを食べる
	刺身など生ものが好き	生ものはほとんど食べない
	生活 & 文化	市民も大学の図書館に入れる
小学校の時から学校で水泳を教える		水泳はめったに教えない
期末試験はレポートが多い		95%筆記試験
迷惑をかける行為はしない		どこでも大きい声で話す
電車やバスの中では電話をしない、電話はマナーモードに設定するか電源を切る		バスの中で普通に通話する
運賃は後払い、運賃は距離によって違う。両替ができる		バスの運賃は乗る場所、降りる場所に関係なく値段は同じ。しかも前払い。両替はできないため、事前に用意
車は走行中、クラクションを鳴らさない		常にクラクションを鳴らす
どこのトイレにもトイレペーパーが置いてある		高級なデパート等を除いてトイレペーパーはなし
すべての国民に医療保険がある。国が7割負担、国民が3割負担		会社員、公務員だけ。田舎の人や、自営業の人はなし。しかも3割負担でなくて、まず自分で全額を払って、その後保険会社に請求し、保険会社が保険対象内の業であるか、保険対象外の業であるかを判断し、保険対象内の業の料金を口座に振り込む
子供を生んだら政府から補助金が出る。おもちゃや粉ミルクももらえる		一人っ子政策、次の子供を生むと罰金。政府からの補助は一切なし
貸し出ししているアパートの中にほとんど何も無い		冷蔵庫、テレビ、ガス台、エアコンは基本的なもの、電子レンジなどは大家さんに相談可
寒い東北地方なのに床暖房はほとんどない。ストーブかエアコンを使用		東北地方はどの家も床暖房か、スチームが設置されている
銀行は土日ほとんど休み		銀行は土日営業
通帳を使う人はまだ多い		お年寄り以外の人はカード、通帳はあまり使わない
通帳を使って一覧をチェックする人が多い		お金の引き出しや、預かり入れ等の動きがあったとき、指定の携帯に通知する機能が設置できる
カラオケを歌う時は、順番に1人ずつ回して歌う		歌いたい人が結構歌う。盛り上がるのが重要視されている
ヘアカット代が高く、女性の場合3000円くらい（1000円カットを除く）		中国では約20-50元（400円～1000円）。1000円だったら結構高級なサロンでカットできる
コンタクトを使う人が多い		めがねをかける人が多く、コンタクトを使う人は少数
日本人は中学生ごろから化粧する		大学生も、会社員も化粧をしない女性がいっぱいいる
運転手の席は右。左側通行		運転手の席は左。右側通行
お湯はあまり飲まない		風邪を引いた時も、寒い時もお湯をよく飲む
水道水を飲む		家にはウォーターサーバーを置いて水、お湯を飲んでいる。水道水は沸かさないと飲めない
奇数が好まれる		偶数が好まれる
結婚すると女性の名字は変わる		結婚しても女性の名字は変わらない
おもてなしの心を重要視している		孔子の中庸思想が強い
定年後、カルチャセンター等に通って勉強を続ける人が多い		定年後、ほとんど遊び、勉強している人はほんのわずか